

記憶から紐解く芝居小屋文化 —内子町小田地区での文化実践—



文化資源マネジメントコース 井口梓研究室
3回生 橋本千宙 加藤鈴菜 岸優花 木津百々薫
2回生 八島花菜 長柊 小山杏子 富永果歩

芝居小屋とは

大都市以外の地域で屋根客席付きの商業的興行を目的とした私設劇場

(徳永1999)

- 江戸～明治 : 茅葺の農村舞台、木造大型建築の芝居小屋
大正～昭和初期 : 芝居小屋の黄金時代/歌舞伎、新派劇、小芝居、浪曲など
昭和20年代 : 芝居小屋が劇場、開館、映画館を兼用
昭和30年代～ : テレビの普及に伴って、多くは閉場(徳永1997)

四国各地の芝居小屋



金丸座
(香川県仲多度郡琴平町)



高野の廻り舞台
(高知県高岡郡津野町)



旭館
(愛媛県喜多郡内子町)



ゆすはら座
(高知県高岡郡梶原)



津野山舞台
(高知県高岡郡梶原)



八代の舞台
(高知県吾川郡いの町)

(令和6年7月撮影)

内子座



▲内子座の正面(令和5年7月撮影)

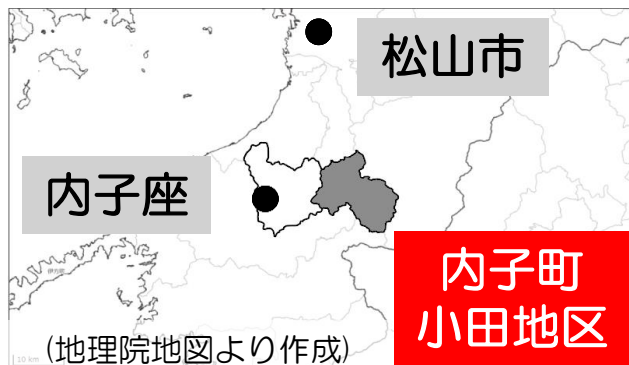
大正5年建築(現存)

- ・凶面/庶務日誌/大典記念株式会社
内子座定款など、多くの記録が残る
- ・復原工事(昭和60年)を経て、
保存修理工事(令和6年9月～)を実施

内子町小田地区(旧小田町)の芝居小屋6座

旧小田町の芝居小屋6座（建物が現存しない）

八幡座、突合座、金壺座、新栄座、廣瀬館、朝日座



小田地区

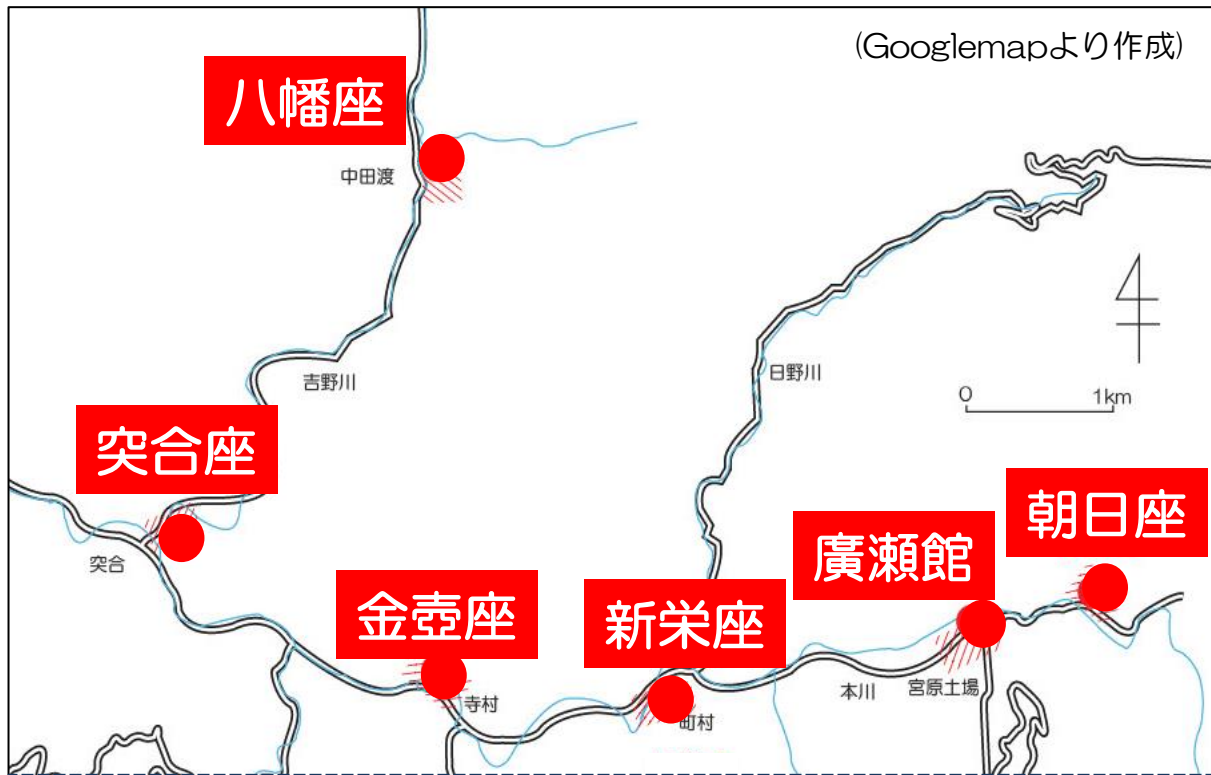
四国山地、山間部に位置

人口：1,928人

高齢化率：55%

(令和2年度国勢調査)

全盛期(昭和20年代)を
知る人が70歳代～(昭和
10～20年代生まれ)



経営されていた時代、建物、興行内容、運営方式
などが異なる**6つの芝居小屋**があった

建物が現存しない＋文献記録が無い＋記憶が失われつつある
小田の芝居小屋の存在が失われる危機的状況

地域文化の記録が残らない背景

■芝居小屋文化の記録・継承の課題

芝居小屋の記録が残らない背景

- ✓ 芝居小屋経営の**私設**
 - ・ 管理人・世話人の入れ変わりが激しい
 - ・ **公的資料**が残らない
- ✓ 芝居道具、映画ポスター、映写機等は骨董品として市場価値が高い
 - ・ 芝居小屋に関連する民俗資料の散逸



内子町小田地区の地域的特性

- ✓ 芝居小屋が他業種と**兼用**
 - ・ 建物の用途転換の際に資料が失われる
- ✓ 昭和38年豪雪
 - ・ 芝居小屋の倒壊
- ✓ 戦前の農村地域における撮影機材（写真機、8mmフィルムカメラ等）の普及の遅れ

■無形文化を記録・保護する重要性

- ✓ 人々の記憶や経験から構成される無形文化を地域に残す価値や意味
- ✓ 無形文化は地域アイデンティティの根源となりうる可能性

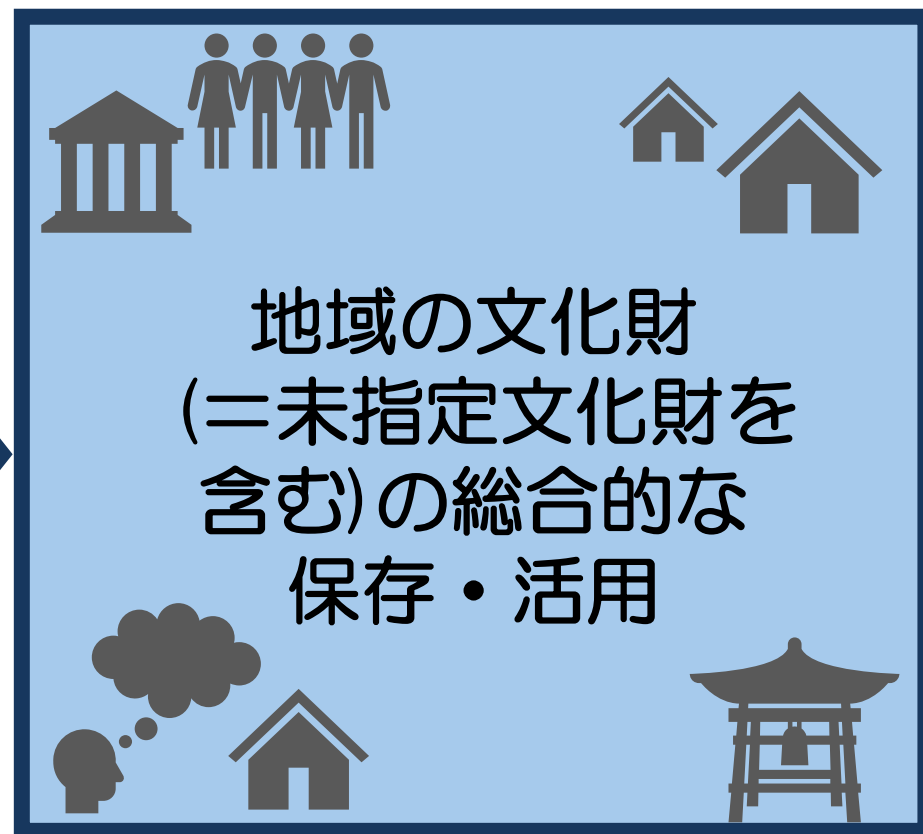
無形文化を含む文化財保護の在り方

■文化財保護法(昭和25年施行)の改定

✓平成26年～30年



✓平成30年～



地域内の文化財（指定＋未指定）を**総合的に把握**し、
地域社会総がかりで文化の保護に取り組む仕組みに

調査手法と研究目的

芝居小屋の文化資料 = 歴史的事象 + 人々の記憶

調査手法

地域の昭和10～20年代
出生者への聞き取り調査



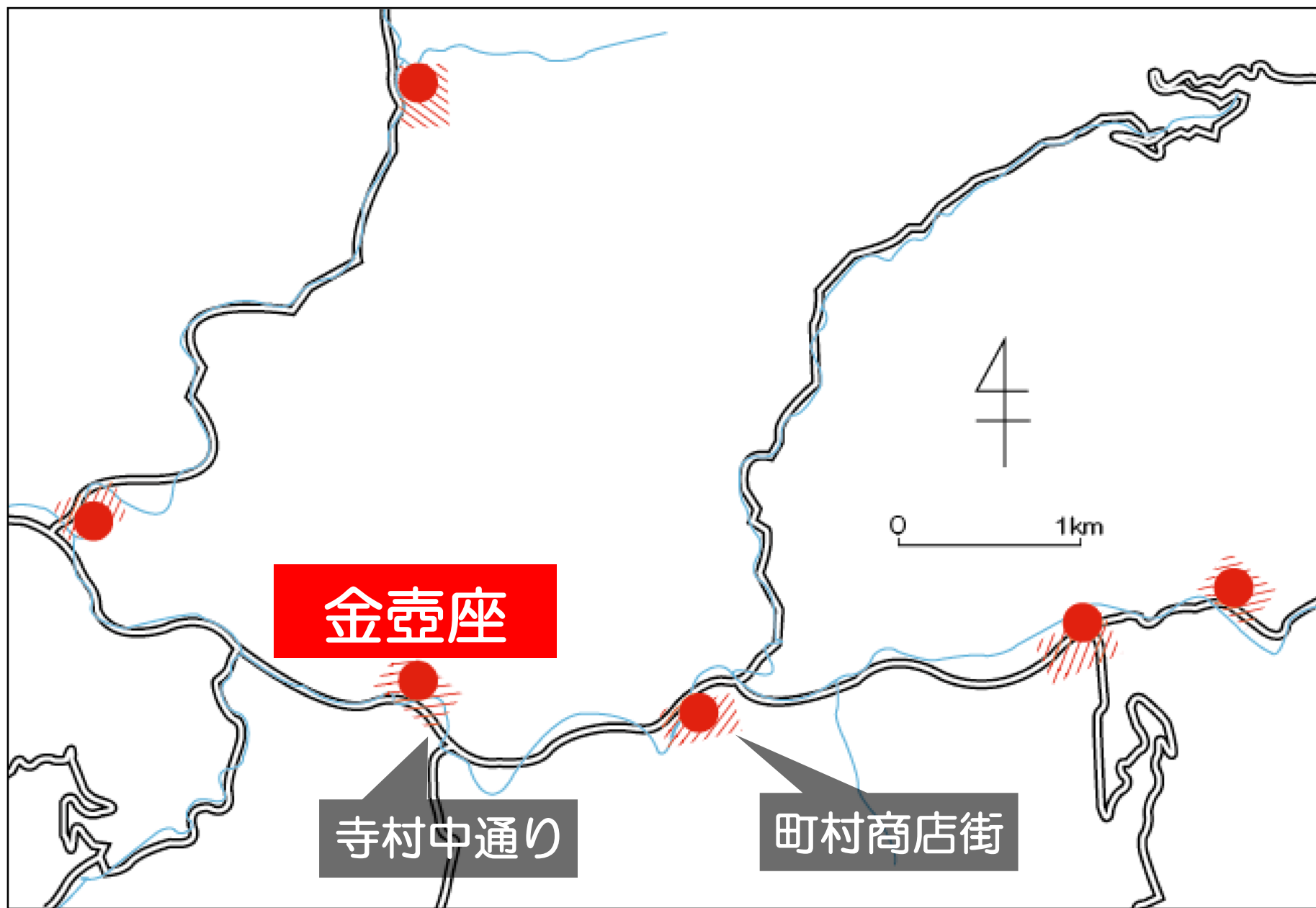
個人の所有する資料
(未指定文化財含む)の収集



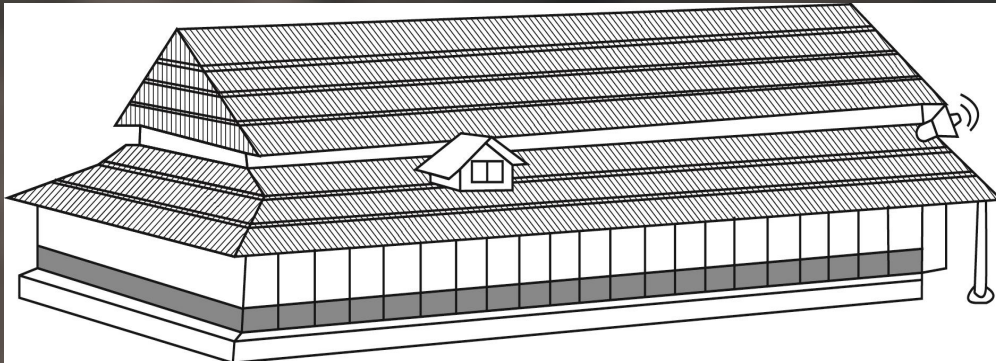
▲小田地区での調査(令和6年8月撮影)

研究目的

内子町小田地区(旧小田町)を事例に、芝居小屋の実態と人々が持つ記憶の記録・収集を行い、「小田の芝居小屋文化」を地域史として保存し、次世代に向け活用する



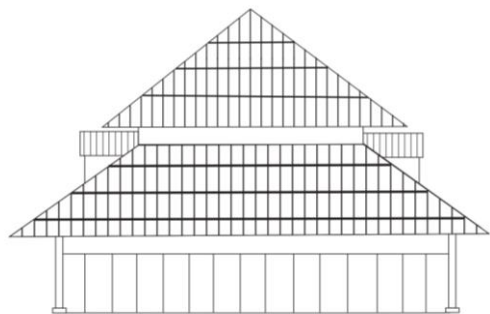
昭和32年頃の旧小田町・寺村中通り (藤岡道正氏提供)



芝居小屋の模式図 (古写真および聞き取り調査より作成)



寺村中通り



芝居小屋の模式図
(古写真および聞き取り調査より作成)



寺村中通り

昭和32年頃の旧小田町・寺村中通り (藤岡道正氏提供)



(ゼンリン住宅地図および
聞き取り調査より作成)

▼昭和30年頃の寺村中通り
(藤岡道正氏提供・一部抜粋)



■昭和30年代の寺村中通り

✓ 食堂や鮮魚店など、約400mにわたって
50もの商店が立ち並び寺村の中心商店街

■寺村中通りに位置する金壺座

✓ 商店街の中心かつ商店街より高台に位置
✓ 細い土道の坂を上った先にある

食堂・自転車屋・酒屋・食品店など
周辺店舗が金壺座の経営を支えていた

創業

芝居の全盛期

衰退・倒壊

大正12年
金壺座建設

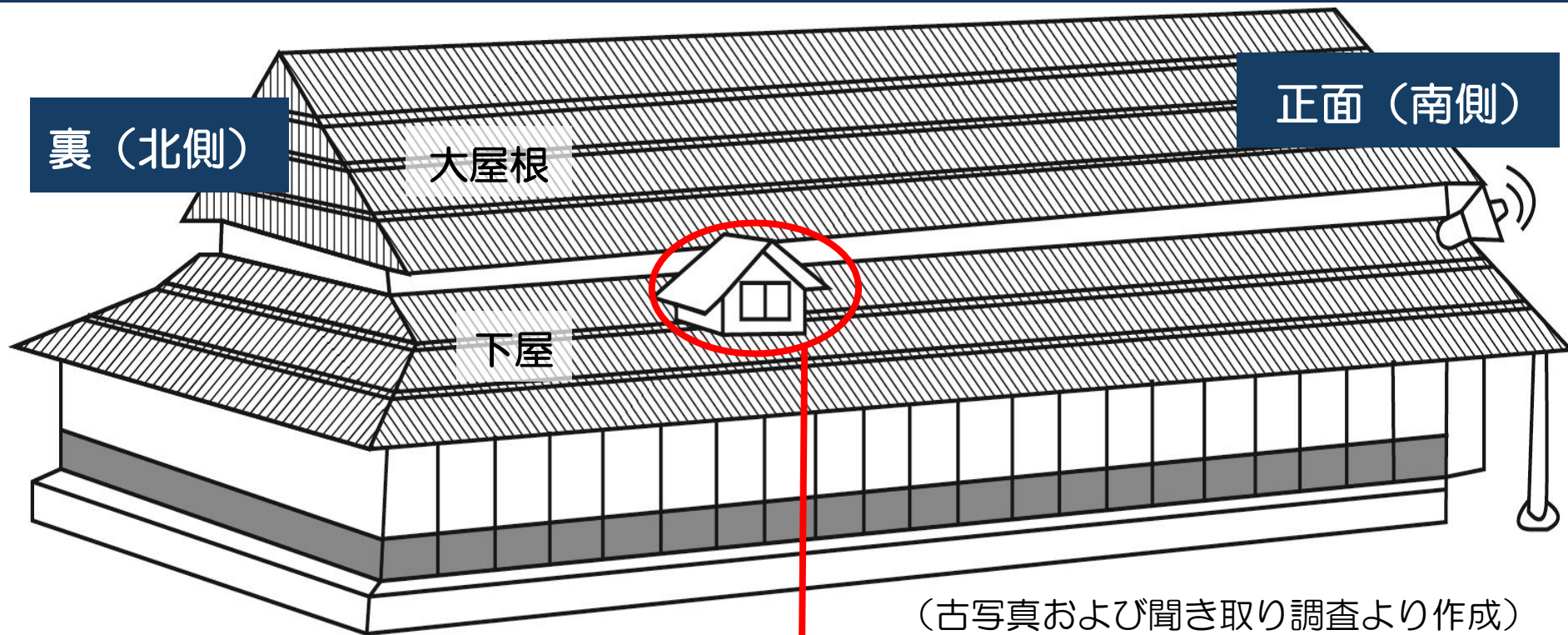
- ✓ 10名の発起人
- ✓ 約50～60名の株主
が1人10円を出資
- ✓ 当時の経営主は不明
- ✓ 約200人を収容

昭和20年代
金壺座の全盛期

- ✓ 人形浄瑠璃や芝居
に加えて、浪曲師
や歌手、劇団が来訪
- ✓ 青年芝居の活動
- ✓ 映画の増加に伴い
升席から椅子席へ
変化

昭和38年
豪雪により倒壊

- ✓ 娯楽の変化を経て
映画は徐々に衰退
- ✓ 豪雪によって金壺
座は倒壊
- ✓ その後、現在の寺
村自治会館へ



（古写真および聞き取り調査より作成）

幅：約18m 奥行：約33m
（古写真より推定）

■屋根

- ✓ 構造は大屋根と下屋の2段構え
 - 正面：切妻屋根
 - 裏：大屋根は切妻屋根
下屋は入母屋造
- ✓ 屋根材は杉皮

■壁

- ✓ 土壁に漆喰が塗られていた
- ✓ 土壁の下部は板を隙間なく配置し、上下を少しずつ重ねた下見板張り

■窓

- ✓ 換気や明かりとりのための屋根付きの出窓が2か所あった

正面（南側）

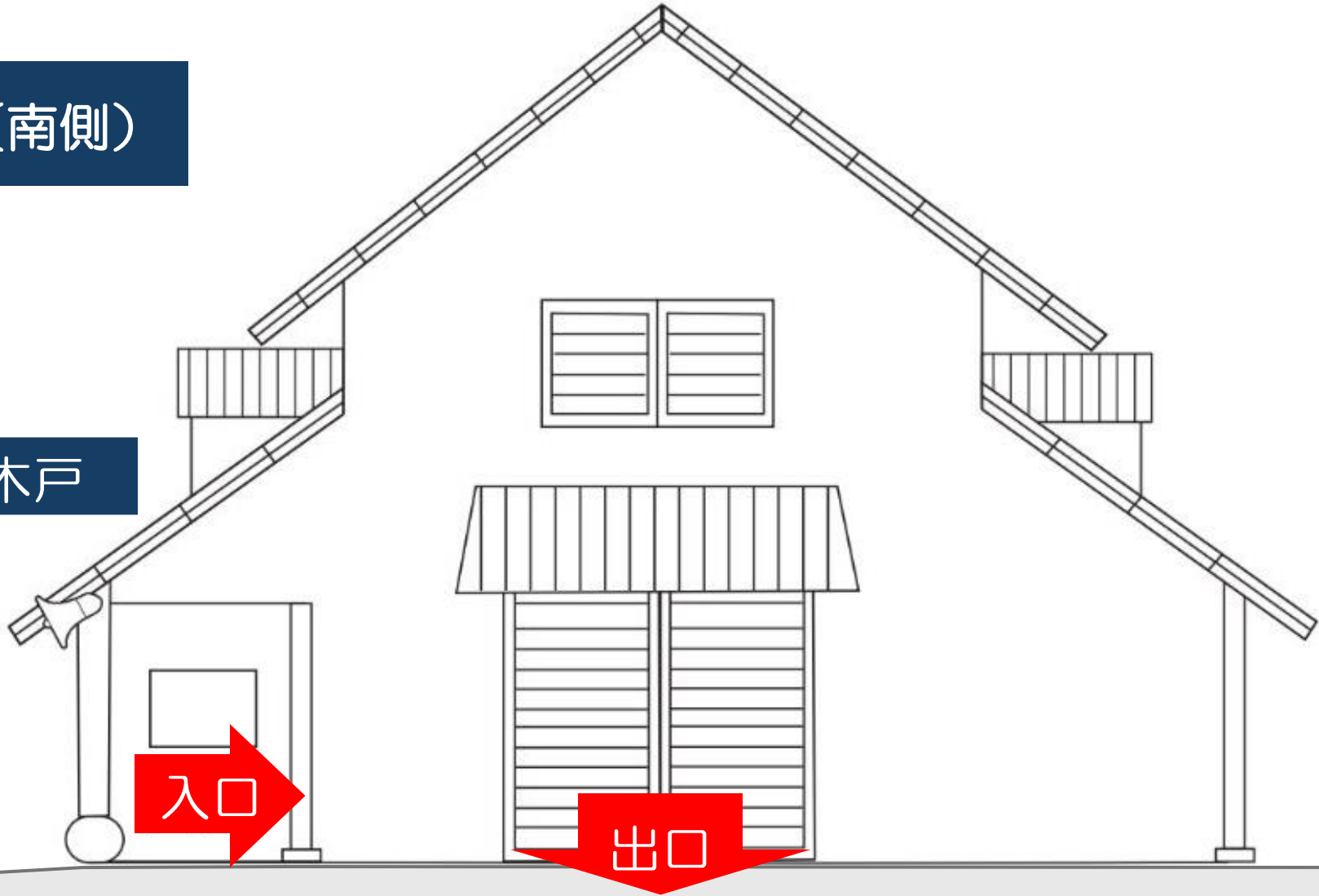
木戸

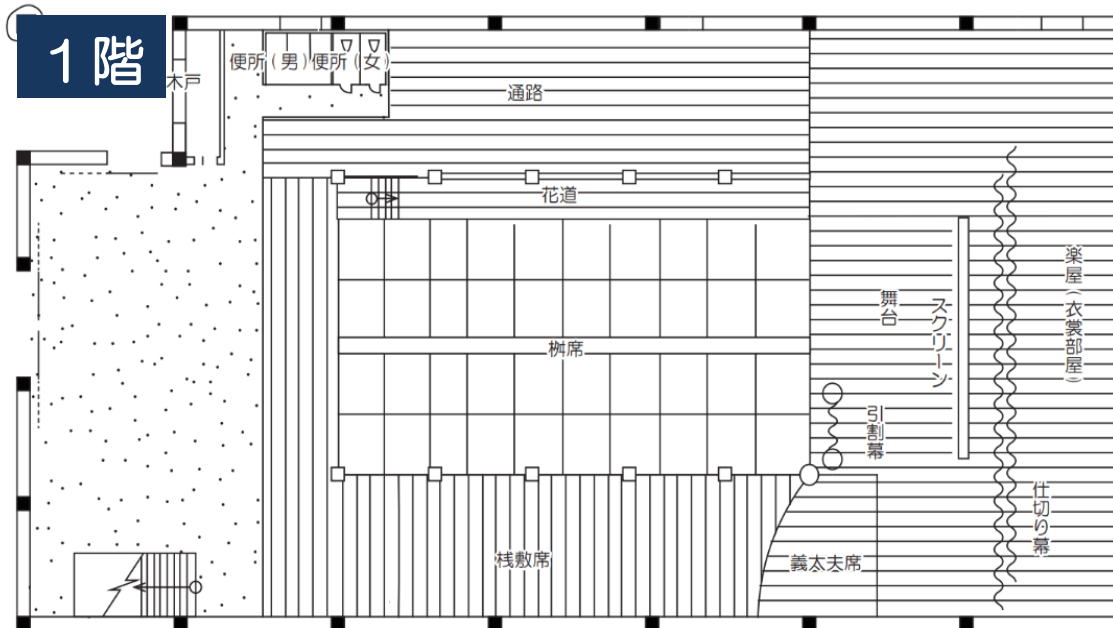
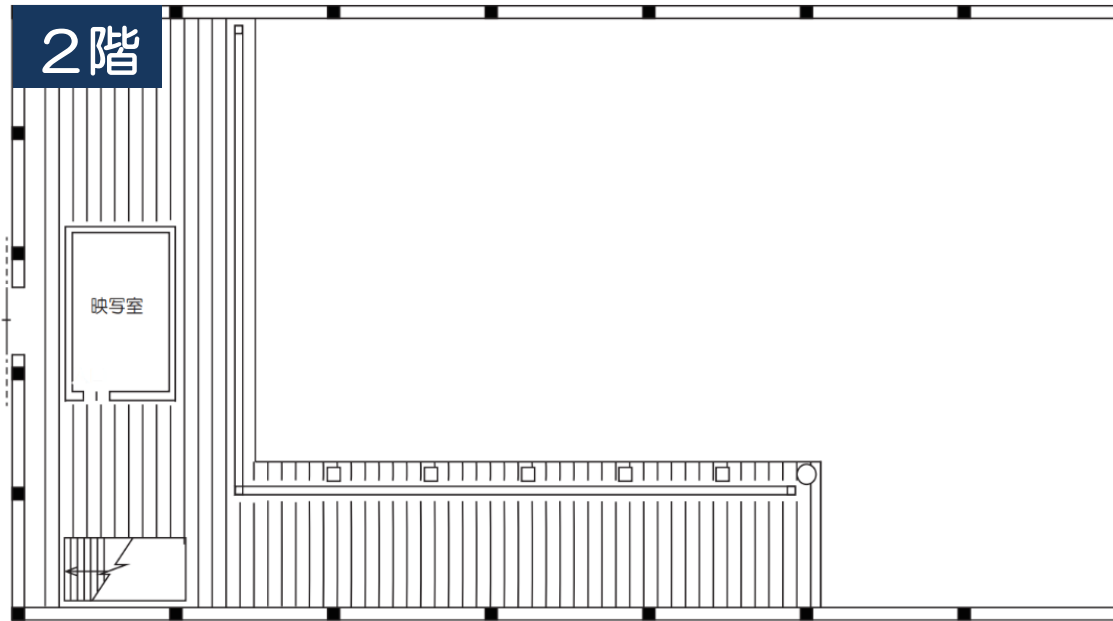
至中通り

入口

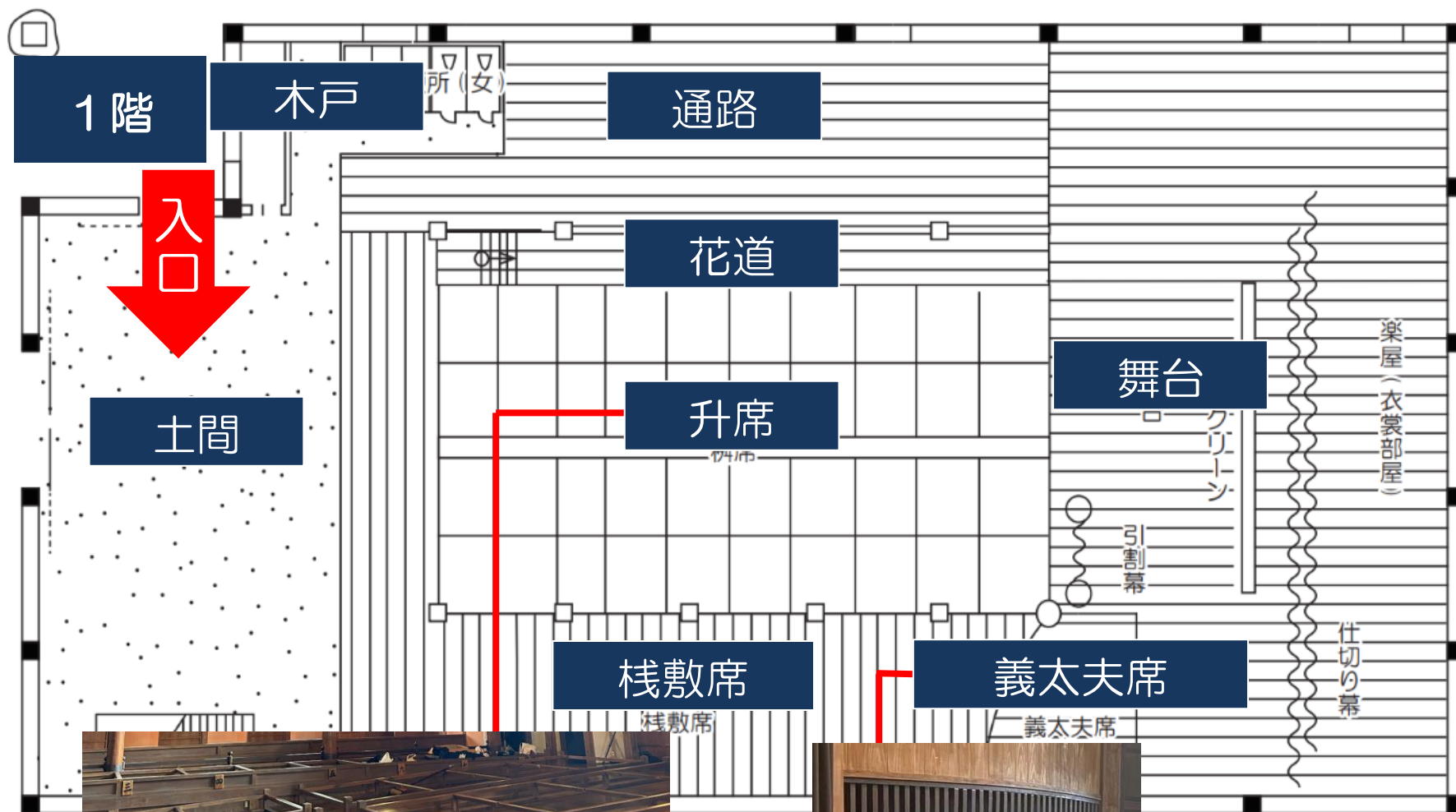
出口

（聞き取り調査より作成）





(聞き取り調査より作成)

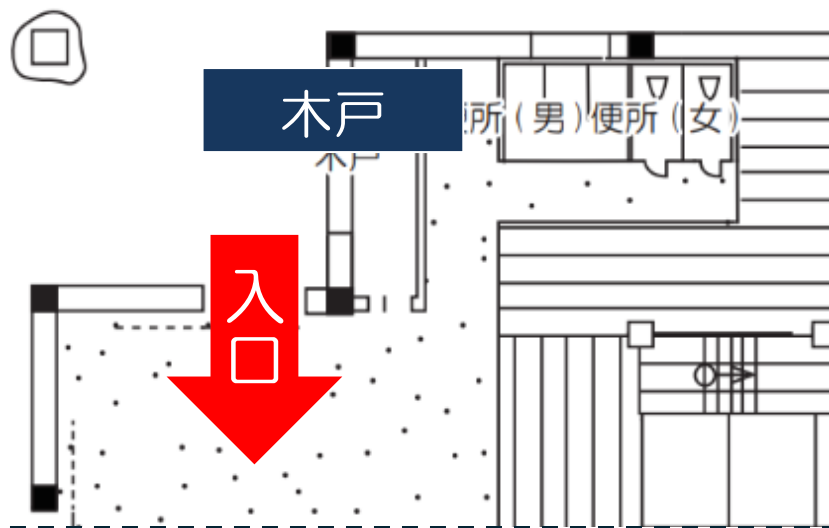


▲参照：内子座の升席
(令和6年10月撮影)



(聞き取り調査より作成)

◀参照：内子座の義太夫席
(令和6年10月撮影)



- 木戸 (客の出入り口)
- ✓ 木戸で木戸番が客の出入りを管理
- ✓ 客は木戸にて料金を払って入場
- ✓ 映画の上映が開始されて以降 **引換券** が使用されるようになった



▲参照：内子座の木戸
(令和6年10月撮影)



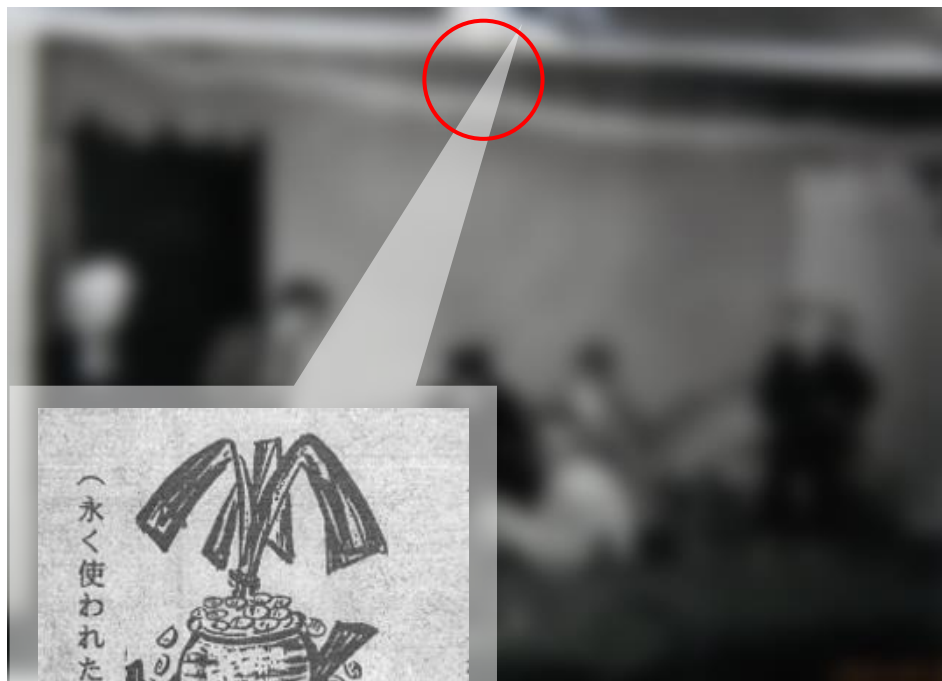
◀内子町民俗
資料館所蔵

幕絵

■金壺座の幕絵

✓一文字幕(舞台上部)

幕の中央には「**金のなる壺**」と
縁起物の**昆布**を組み合わせた幕絵



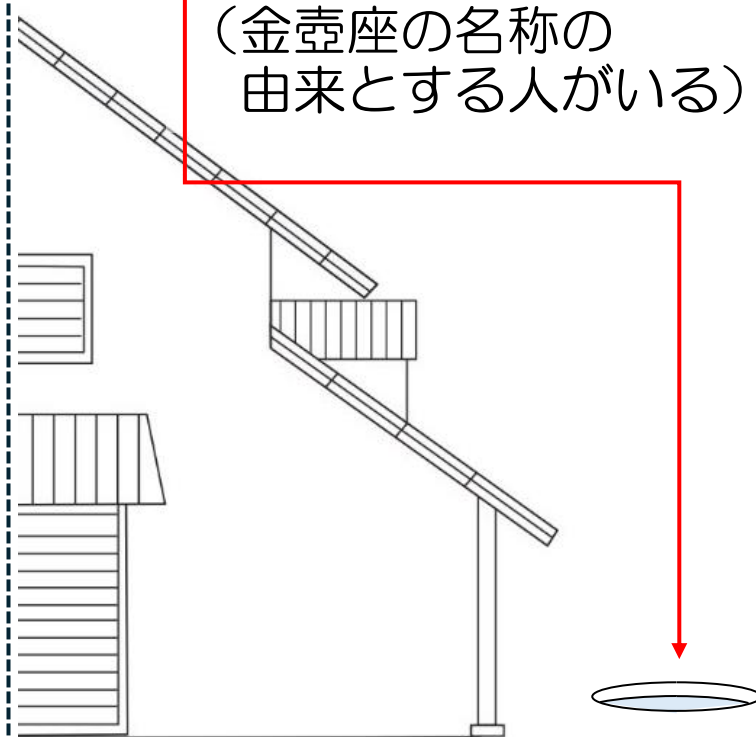
▲藤岡道正氏提供
◀花岡禮次郎氏提供資料
より転載

壺・井戸

■正面の井戸

✓正面出口の東側

水が張られた**壺**、もしくは
「**なめらの井戸**」があった
(金壺座の名称の
由来とする人がいる)



▲金壺座正面 (聞き取り調査より作成)

大正12年～

昭和10年代

昭和20年～

青年演劇のようす (藤岡氏提供)

<https://www.sakigake.jp/news/article/20230401AK0017/>

東海林太郎(歌手)

<https://www.twellv.co.jp/program/drama/nemuri-kyoshirou/>

『眠狂四郎』(映画)

演劇
村芝居

歌謡
芝居

映画

村芝居のようす (藤岡氏提供)

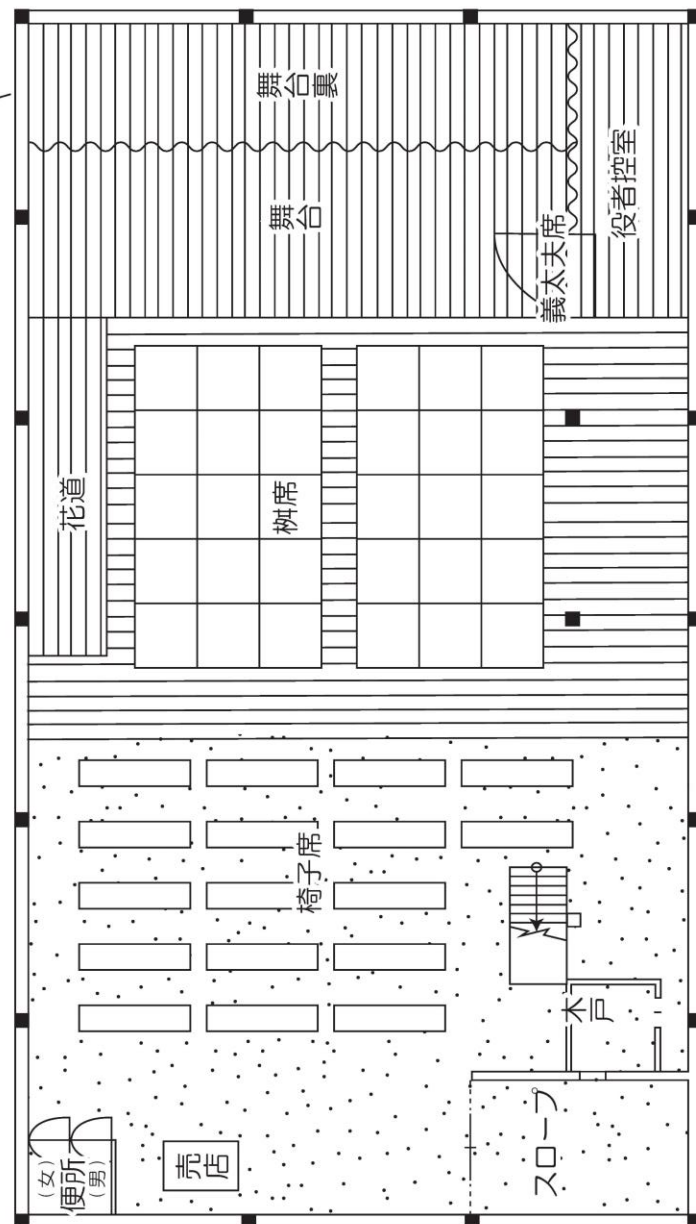
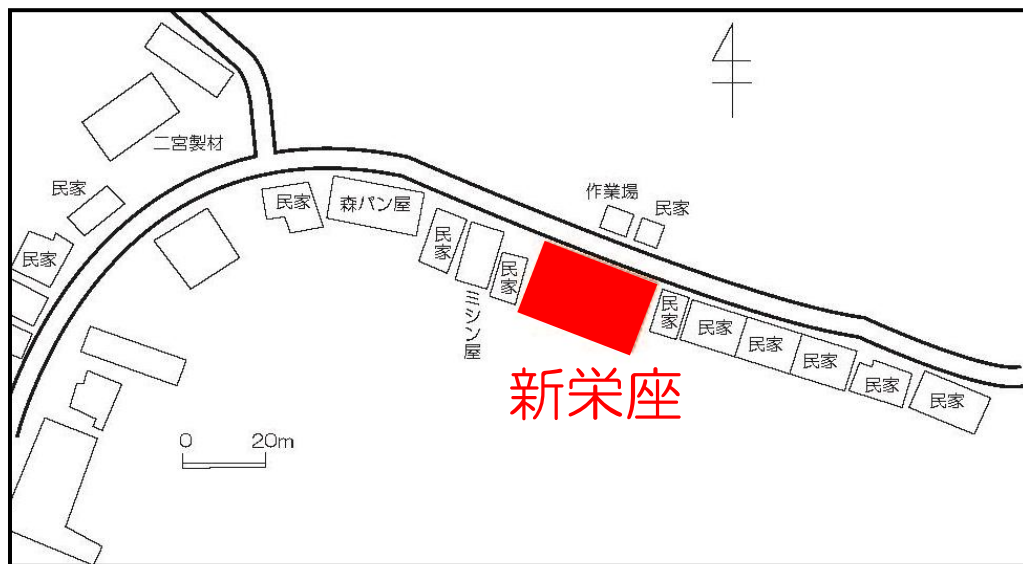
<http://miyata.gotdns.com/Cafe/ksawamura.htm>

沢村国太郎(劇団)

<https://blog.goo.ne.jp/okudaidou/e/9cd07cab03d178b96661a322fc636dc0>

『赤穂浪士』(映画)

株主の出資による芝居専用の建物、域内外の芸能文化の発信地

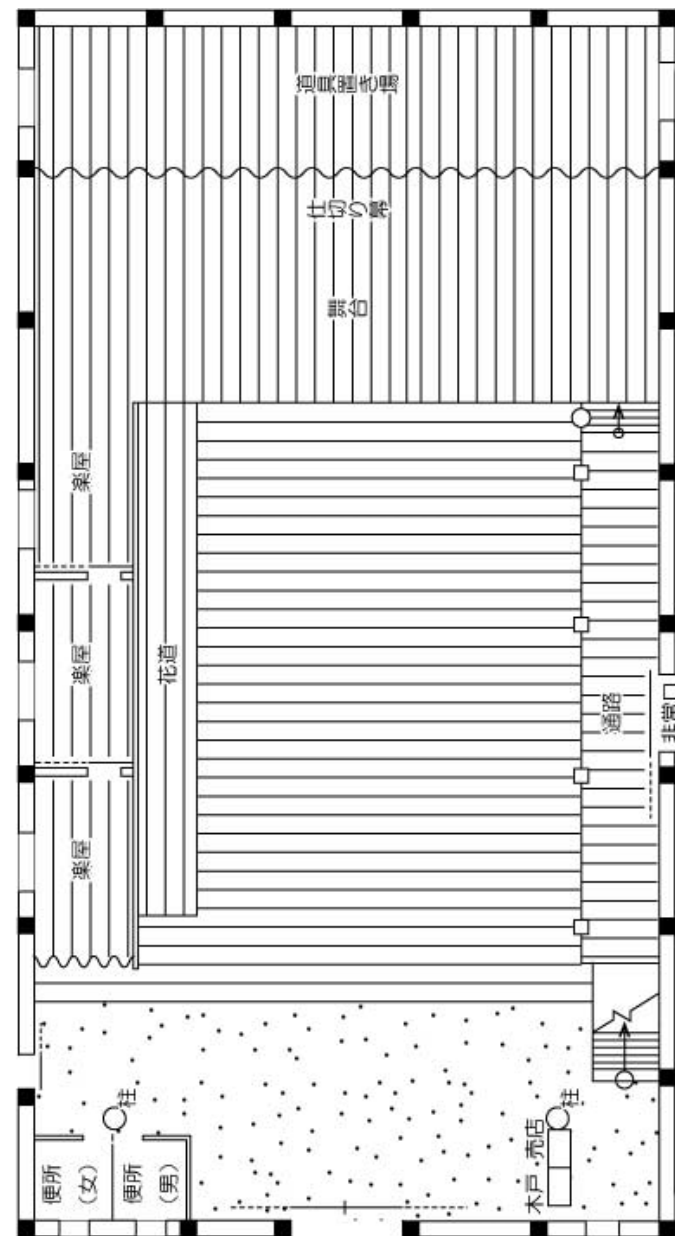


▲昭和30年頃の新栄座周辺 (ゼンリン住宅地図および聞き取り調査より作成)

▲内観模式図(聞き取り調査より作成)



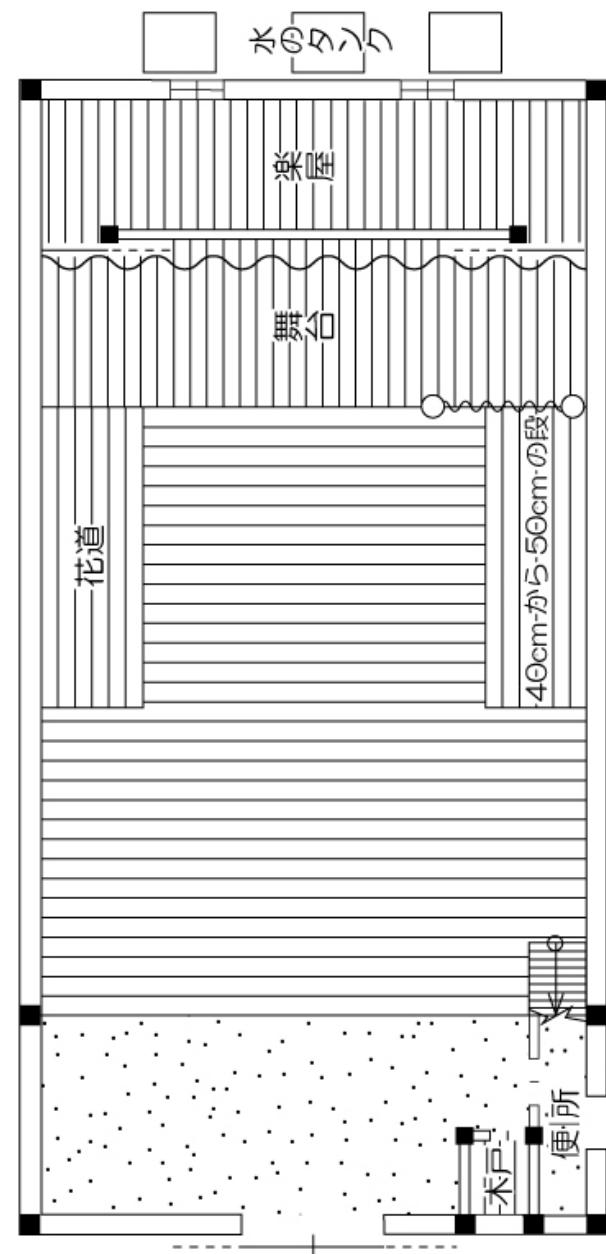
▲昭和30年頃の廣瀬館周辺
(ゼンリン住宅地図および聞き取り調査より作成)



▲内観模式図(聞き取り調査より作成)



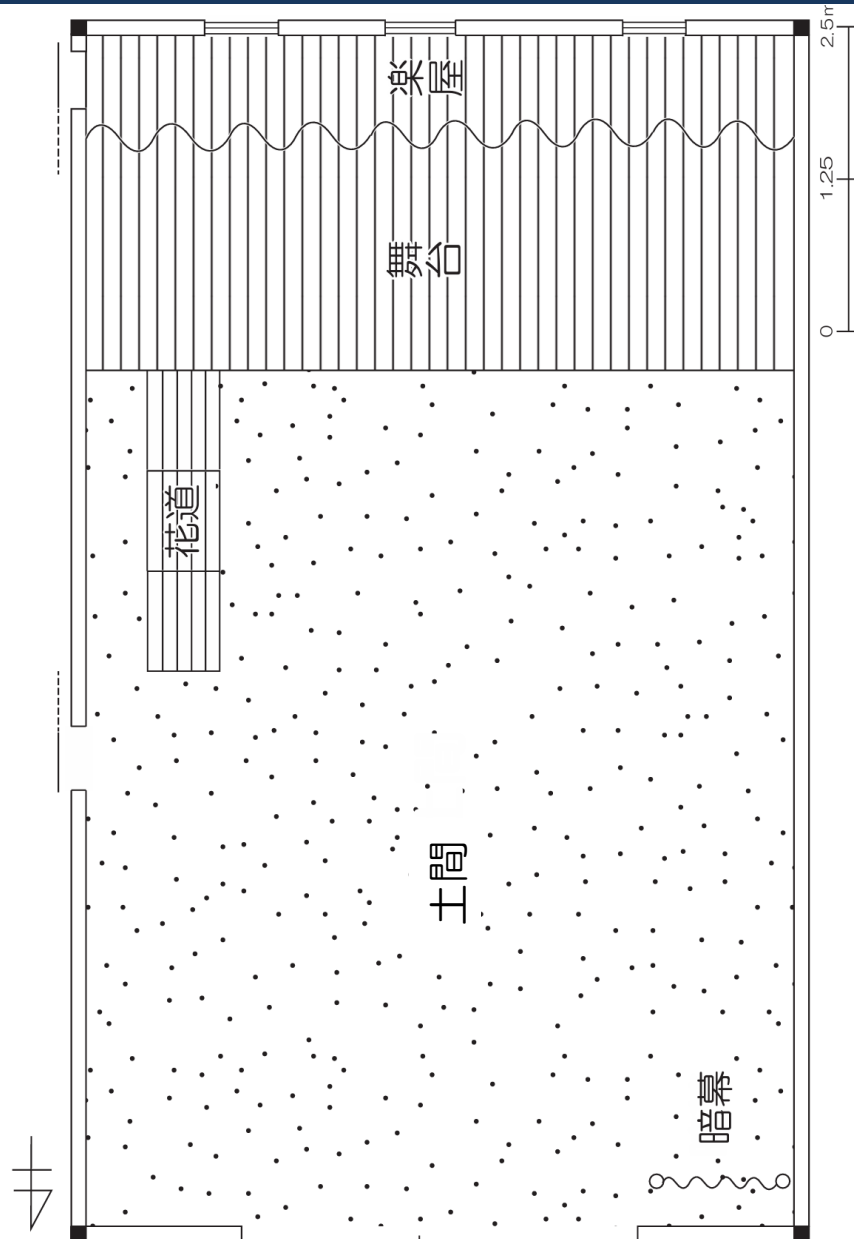
▲ 昭和8~40年頃の八幡座周辺
(ゼンリン住宅地図および聞き取り調査より作成)



▲ 内観模式図(聞き取り調査より作成)



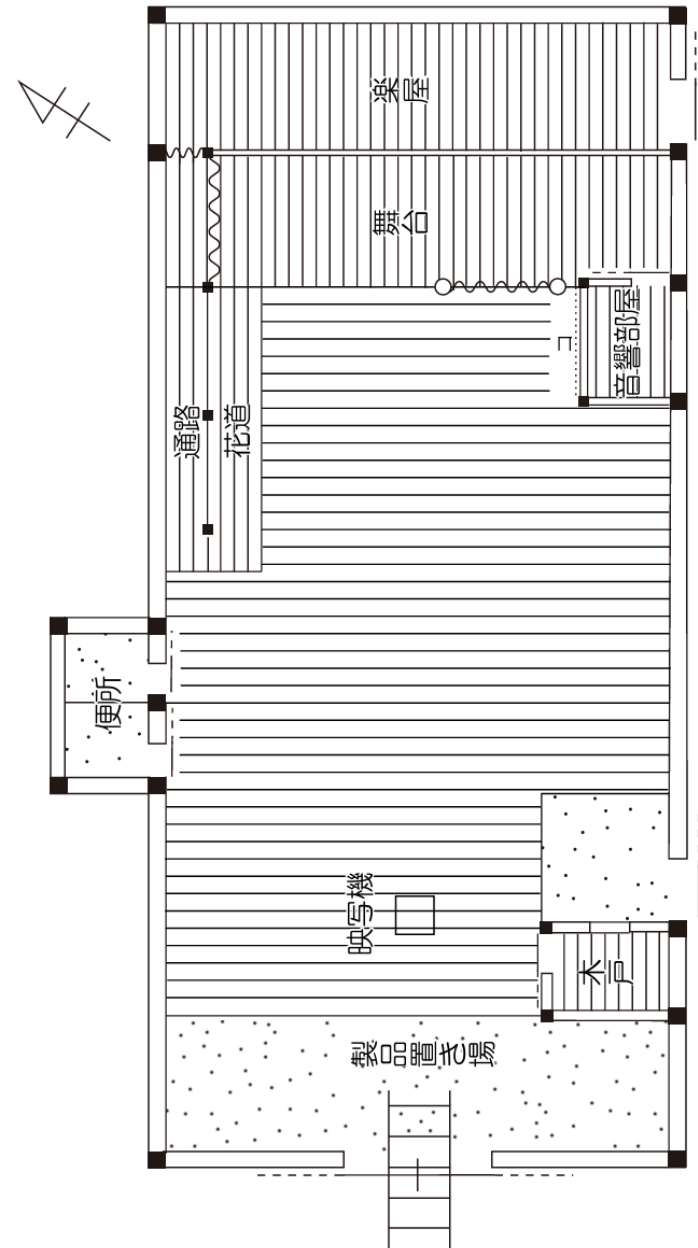
▲ 昭和25年頃の突合座周辺
(ゼンリン住宅地図および聞き取り調査より作成)



▲ 内観模式図(聞き取り調査より作成)



▲ 朝日座周辺 (ゼンリン住宅地図および聞き取り調査より作成)



▲ 内観模式図 (聞き取り調査より作成)

芝居小屋をめぐる人々の記憶と語り

農村の娯楽

「みんな農作業をしていて音楽が聞こえると作業を辞めて芝居小屋へ向かった」

常連の特別席

「Y氏の座る場所は決まっていて、怒られないようにいつも空けていた」



小屋内での大人達の喧嘩

「飲んでくる人達が、芝居小屋の後ろの方で、よく喧嘩して騒いでいた」

学校でのチャンバラ

「時代劇の上演があった翌日の放課後、教室の戸を閉め切って真似をしていた」

芝居小屋は、地域社会・仕事・学校・家族など
「**地域の日常**」と深く関わって記憶されている



人々の「語り(言説)」＝ 地域の人々が語る地域史
多様な立場から見る新しい地域史を残すことに繋がる

立地や運営の異なる多様な芝居小屋

【広告】

チラシ・ポスター
スピーカー
ちんどん屋

【運営】

興行主・株主
地元事業家・世話人

【立地】

商店街付近
神社参道
林業・製材業工場

【関係者】

興行主・映写技師
掛け持ち

芝居小屋

【演者】

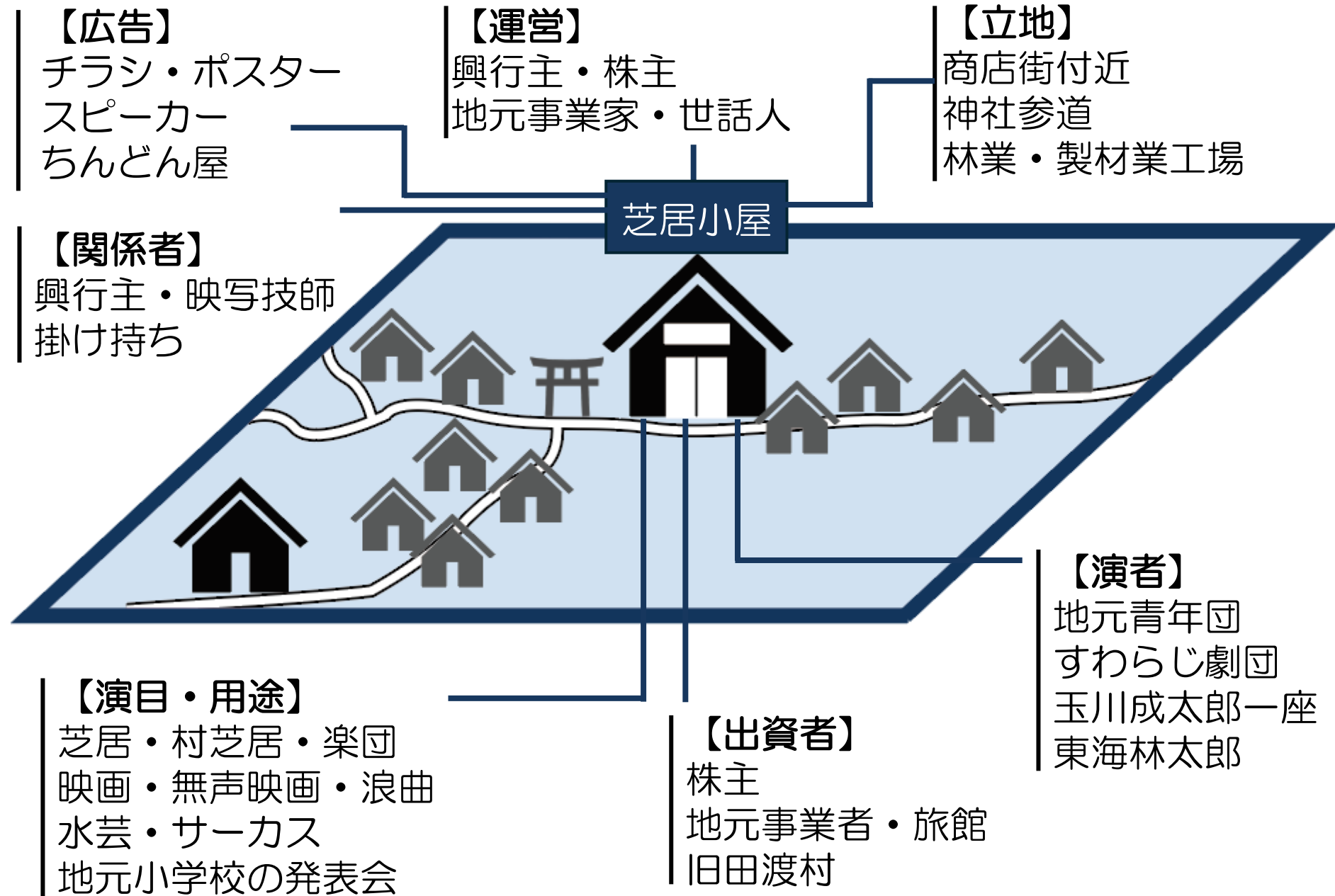
地元青年団
すわらじ劇団
玉川成太郎一座
東海林太郎

【演目・用途】

芝居・村芝居・楽団
映画・無声映画・浪曲
水芸・サーカス
地元小学校の発表会

【出資者】

株主
地元事業者・旅館
旧田渡村



文化保存の多様性

一次調査(多様な記録/個人の記録)

一次資料の保存

収集した資料の保存



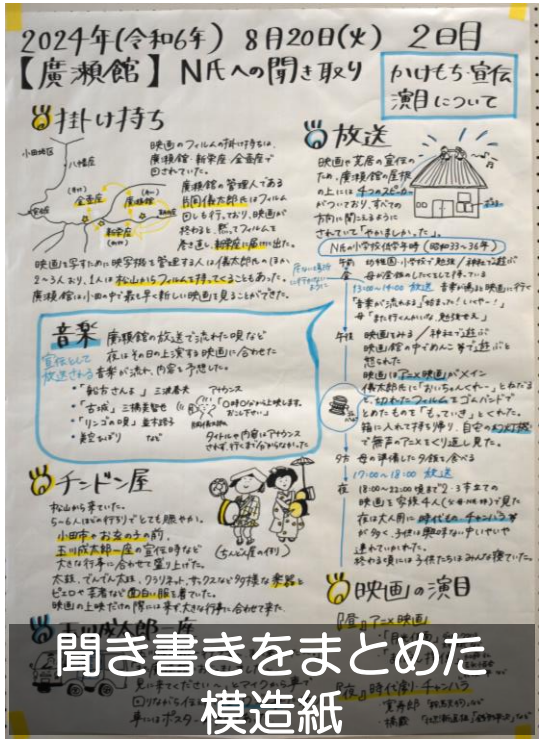
聞き書き記録
(令和6年8月撮影)



民具収集
(令和6年8月撮影)

生活史として保存

調査した場で公開



聞き書きをまとめた
模造紙

郷土史として保存

地域内外に還元



地元での公演
(令和6年6月撮影)



郷土史の出版

人々の生活史(記憶・経験)を活用する可能性

文化・まちづくり

- ✓文化振興計画の改定への提言
- ✓高校生と文化関連のワークショップ



人材育成

- ✓生活史を題材とした人材育成
- ✓語りを聞くフィールドワーク



芸術活用

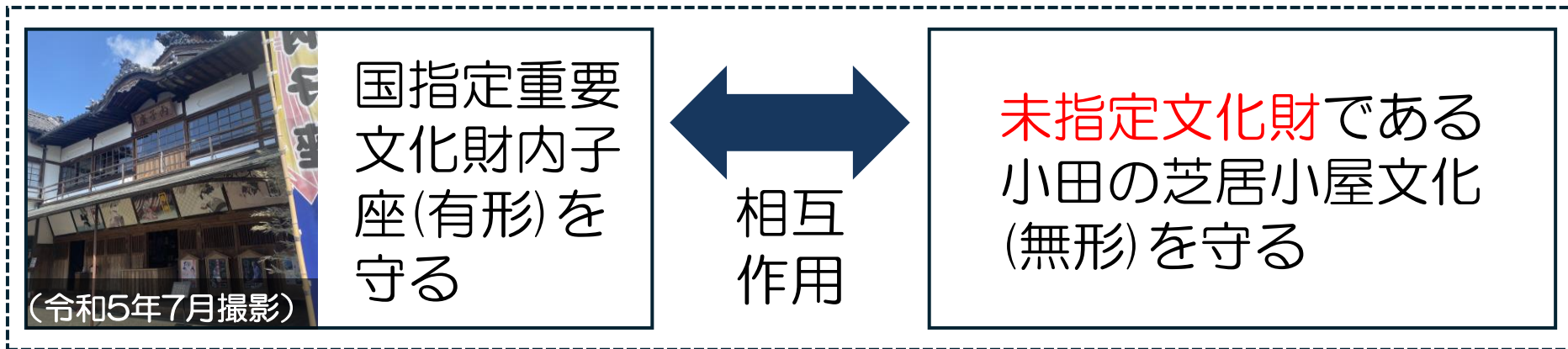
- ✓記憶や経験をアート作品として展示
- ✓2025年度芸術祭で実施予定



多様な文化記録を多面的に保存することで、芝居小屋文化の異なる側面を異なるステークホルダーの活用につなげる

芝居小屋文化と地域

■地域の文化財を保存・活用すること



芝居小屋文化(総合的)＝地域総がかりで保存・活用

指定・未指定・有形・無形に限らず、ローカルなスケール
(まちづくり/教育/福祉/観光など)で活用する必要性

謝辞・参考文献

研究活動を実施するにあたり、お力添えを賜りました内子町 町並・地域振興課の皆様、小田自治センターの職員の皆様、内子町教育委員会の皆様、いころ会の皆様、聞き取り調査にご協力いただいた地域住民の皆様、誠にありがとうございました。

また調査にご助言くださった徳永先生、実践活動を支援してくださった愛媛県観光スポーツ文化局文化振興課の皆様、株式会社NINO inc.の皆様、東京藝大の関係者の皆様、写真を提供してくださった写真家・善家様、兵頭様、模式図作成にあたりご助言いただきました先生方に重ねて御礼申し上げます。重ねて私たち研究室の調査のためにご協力いただきましたすべての皆様に厚く御礼申し上げます。

【参考文献】

- ・『内子座』編集委員会編(2016)『内子座 地域が支える町の劇場の100年』学芸出版社
- ・内子町誌編纂委員会(2018)『内子町誌 うちこ時草紙 1. 文化編』セキ株式会社
- ・内子町誌編纂委員会(2018)『内子町誌 うちこ時草紙 2. 民俗編』セキ株式会社
- ・内子町誌編纂委員会(2018)『内子町誌 うちこ時草紙 3. 歴史編』セキ株式会社
- ・愛媛県史編さん委員会(1984)『愛媛県史 地誌Ⅱ(中予)』愛媛県
- ・愛媛県史編さん委員会(1986)『愛媛県史 芸術・文化財』愛媛県
- ・小田町誌編纂委員会(1985)『小田町誌』小田町
- ・小田の里巨樹巨木を想う会(2021)『小田の道を木々と歩く』愛媛大学井口研究室
- ・株式会社ゼンリン『ゼンリン住宅地図 愛媛県喜多郡内子町2010 07』株式会社ゼンリン
- ・時事通信社編(1952)『映画年鑑1953年版別冊 全国映画館総覧』時事通信社
- ・時事通信社編(1954)『映画年鑑1955年版別冊 全国映画館総覧』時事通信社
- ・時事通信社編(1993)『映画年鑑1994年版別冊 全国映画館総覧』時事通信社
- ・菅豊、北條勝貴編(2019)『パブリック・ヒストリー入門』勉誠出版
- ・徳永高志(1999)『芝居小屋の二十世紀』雄山閣出版株式会社
- ・日本放送協会放送文化研究所(1963)『テレビ・ラジオ番組視聴率調査：全国・地方別結果表』日本放送協会放送文化研究所
- ・藤岡道正(2021)『昭和時代に写した写真集』
- ・藤森照信(2019)『藤森照信のクラシック映画館』青幻舎
- ・宮澤智士代表編著(1995)『芝居小屋内子座 80の年輪』内子町町並保存対策課